

2025. 8 月

女性チャレンジ応援拠点だより

～チャレンジロードの歩き方～



コラム

「後に回すことほど大事！」

8月になりました。7日は「立秋」ですが、秋はまだまだ遠いようです。さいわい8月はお盆休みや夏季休暇をとれる人も多いので、なるべく休養をとり、心身の疲れを少しほぐしておきましょう。スマホやSNS断ちも一考です。旅行せず近場で過ごすなら、どこか涼しいところで、ただボーッとする。ふと子どもの頃の夏休みの光景を思い出すかもしれません。どうせなら子どもの頃によく行った場所を翌日訪ねてみる。なにかしら郷愁をおぼえ、心が柔らかくなる。翌日はその余韻にひたる。そんな三日間を過ごすだけでも、けっこうほぐれそうではありませんか。

さて『チャレンジロードの歩き方』、8月は「後に回すことほど大事」をお届けします。人間は目に見えるもの、動くものに反応し、そうでないものには反応が鈍くなる。目の前の仕事は一生懸命こなしているけど、10年後の将来像のために今やるべきことは手つかず、ということがよくあります。”日常業務は戦略的業務を駆逐する”（ハーバート・サイモン（※1））という言葉があるほどですから、チャレンジした活動を10年、20年と続けていくためには、それなりの工夫と努力が必要です。そこで、後に回しやすい典型を2点挙げ、そうならない工夫を考えてみましょう。

一つ目は、「経過と結果を明らかにする」。チャンスとリスクは物事が進み、流れている中に潜んでいるものです。それに気づいても進行を優先してそのうち忘れるというパターンが多い。交渉や商談中に相手が発した何げない一言あるいは表情、こちら側の相手への印象、はたまた相手からの辛辣な批評、など等、些細なことから劇的なことまでありますが、些細なことを見逃さず、経過を記録し、結果のよしあしを明らかにして、次の実行の改善・改良につなげる。「マネジメント・管理」でいえば、実行した後の「検証」が大事ですが、つい先延ばしにしがちです。

Aさんの例をご紹介します。工夫してエクセルで独自のフォームを作り、A4用紙タテ1枚の半分の上段に案件の概要と作業に費やした時間などの経過を記入できるようにしました。

下段は二つに分け、一つ目に「実施状況」、その下二つ目に、「その他、気になった点、気づいた点、感じ・考えたこと、次に行うアプローチ、アクション」を書き、案件ごとにこの表を用意し、経過を書き入れ、終了すれば保存すべき資料数枚と合わせ、所定のフォルダーに時系列にファイルしているとのこと。さらに、この表をもとに講師活動だけの履歴一覧表を別途作り、順次追記してSNSにアップしているそうです。「実はそれを見て、先日新規の講演依頼があったんです」（Aさん）とのことでした。

二つ目は、「憂うつなことを優先する」。10数年前に『憂鬱でなければ仕事じゃない』（※2）という本がありました。たしかに重要な仕事は気が重い。特に相手のあること、最たるものは交渉ごとや説得ごとでしょうか。例えば、一緒に活動を立ち上げた仲間としたいに考えに隔たりが出てきて、ギクシャクした状態になってきたけど、どう対処するか、考えるだけで気が減入る、ということがあるでしょう。対外的な、例えば価格交渉もしかりです。心理的ストレスは大きいに違いありません。

だからこそ、大事と言えるわけです。対処した先に新しい展開や状況が生まれてくるのです。「憂うつなこと」は、「優先させること」と意味づけしましょう。初めは書いて見て、口に出して、自分にわからせる工夫が必要かもしれませんが、チャレンジャーのみなさんは思考の切り替えも早いのではないのでしょうか。

といったところで、改めて、今回の「後に回すことほど大事」に挙げた2点はかなり大事なことです。実践をお勧めいたします。自分なりの実践の方法をさらに考えたいという方は、どうぞ「女性チャレンジ応援拠点」をご利用ください。スタッフが一緒に考え、みなさんのチャレンジのよりよい道のりをバックアップします。みなさまのご利用をお待ちしております。

（※1）アメリカの政治学者・認知心理学者・経営学者・情報科学者。

（※2）見城徹、藤田晋『憂鬱でなければ仕事じゃない』講談社、2011

女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp

運営：大阪市立男女共同参画センター中央館
電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705

★開室日

※祝日、祝休日の翌日の場合は休室

水	木	金	土
18:00 }	13:00 }	10:30 }	13:00 }
20:00	15:00	12:30	15:00

★開室時間内は自由に入退室いただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

